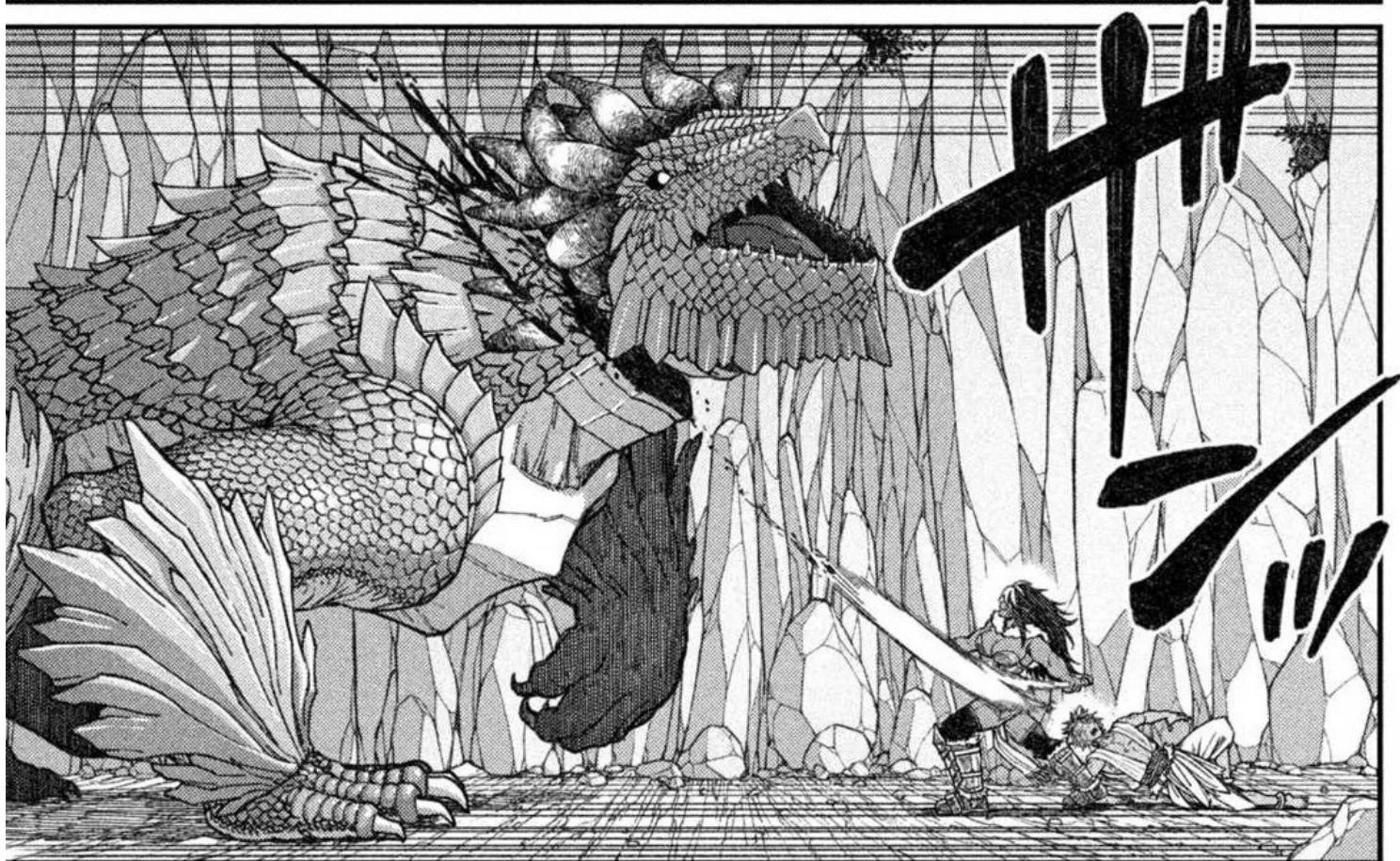










そんな事よりアデーラ
解体はどうします？

ああ
あとあと！

副・作用が出る
前にテントに
戻りたいしな

分かりました

いくぞ〜
カイル！
こっからがあなたの
仕事なんだから

だったら
エサ役なんて
やらせないで
下さいよ！

ズボッ

ホッ

すみません
クラリツサさん
お願いします！

すっ

クレア！
結果と
保存の呪いだけ
頼んだぞり！！

“ガリーニ
森の人”

長命種であり
強靱な肉体を
持つ彼らだが

戦いにおいては
自己強化により
一時的に超人的な
力を発揮する

しかしその
副作用は――



あ：アデーラ…っ
もう少し
ゆっくり…ッ



だらし
のない

ふふっなんだ
もう音を
上げるのか？



私を
満足させるのが
お前の仕事だろ

で：
ですけど…



ウツ……



俺もう……っ

すみません
アデーラ……ッ



?

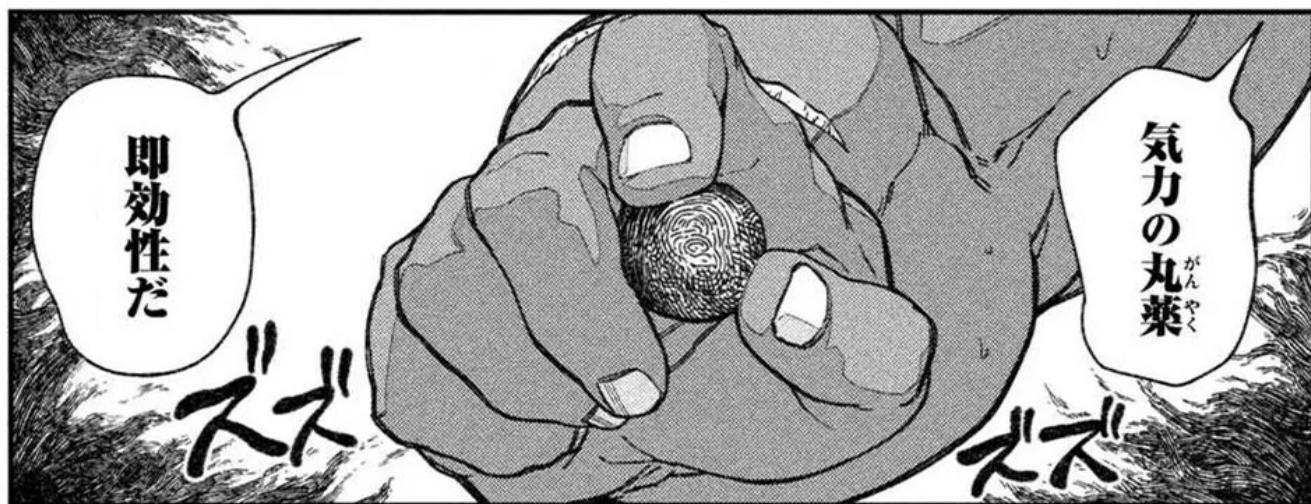
ホラ
口あけろ



まったく
仕方ない
ねエ

ゴッ

ゴッ



即効性だ

気力の丸薬
がんやく

ズズ

ズズ



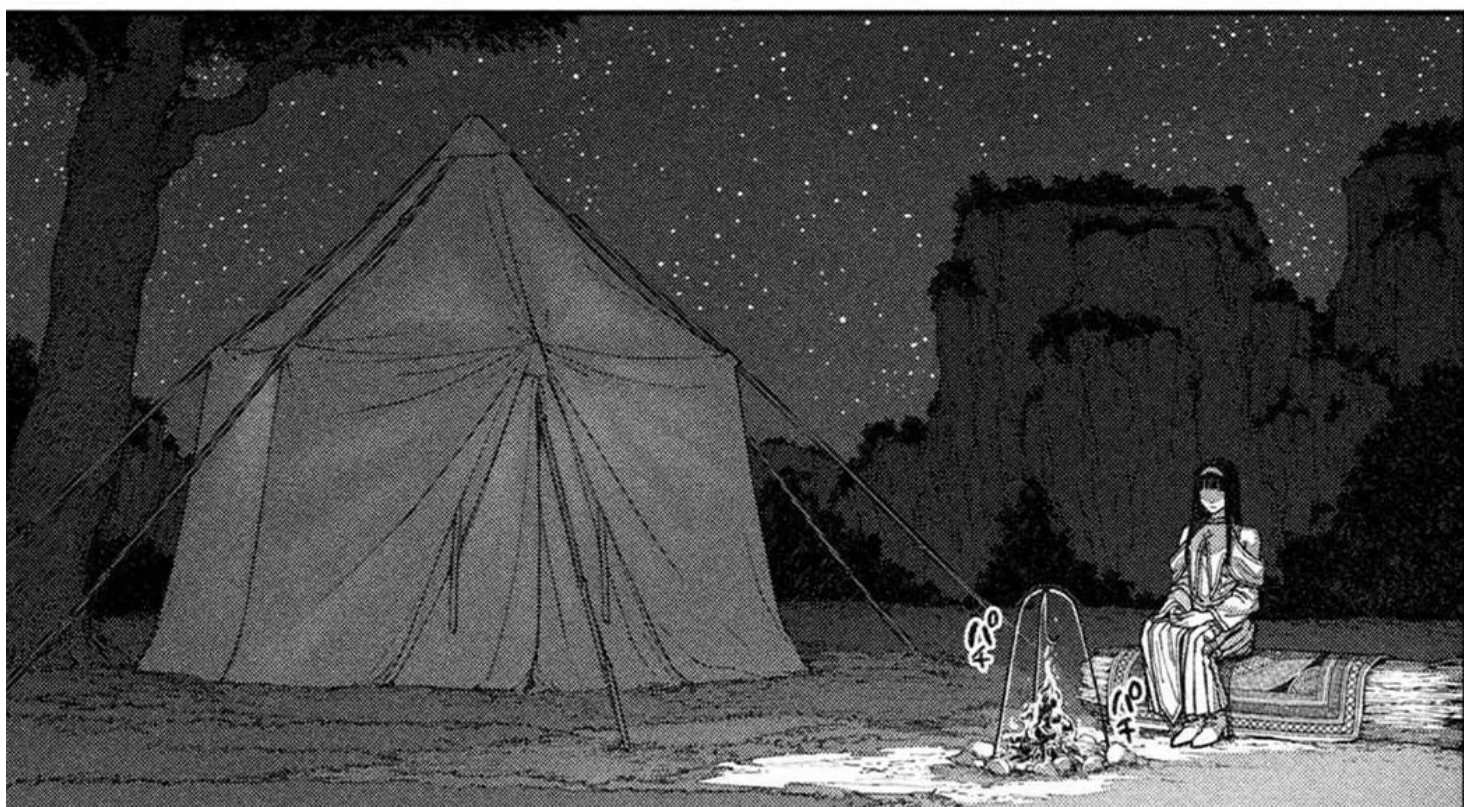
来いっ
カイルッ

いいぞッ

ガ
ッ



わはははっ





カイルが来てから
彼女すごく
楽しそう

力を抑える
必要がなくなって

そうなんですか？

でもそれは
サポーターとして
クラリツサさんが
いるからですよ

…クレアと
呼んでください

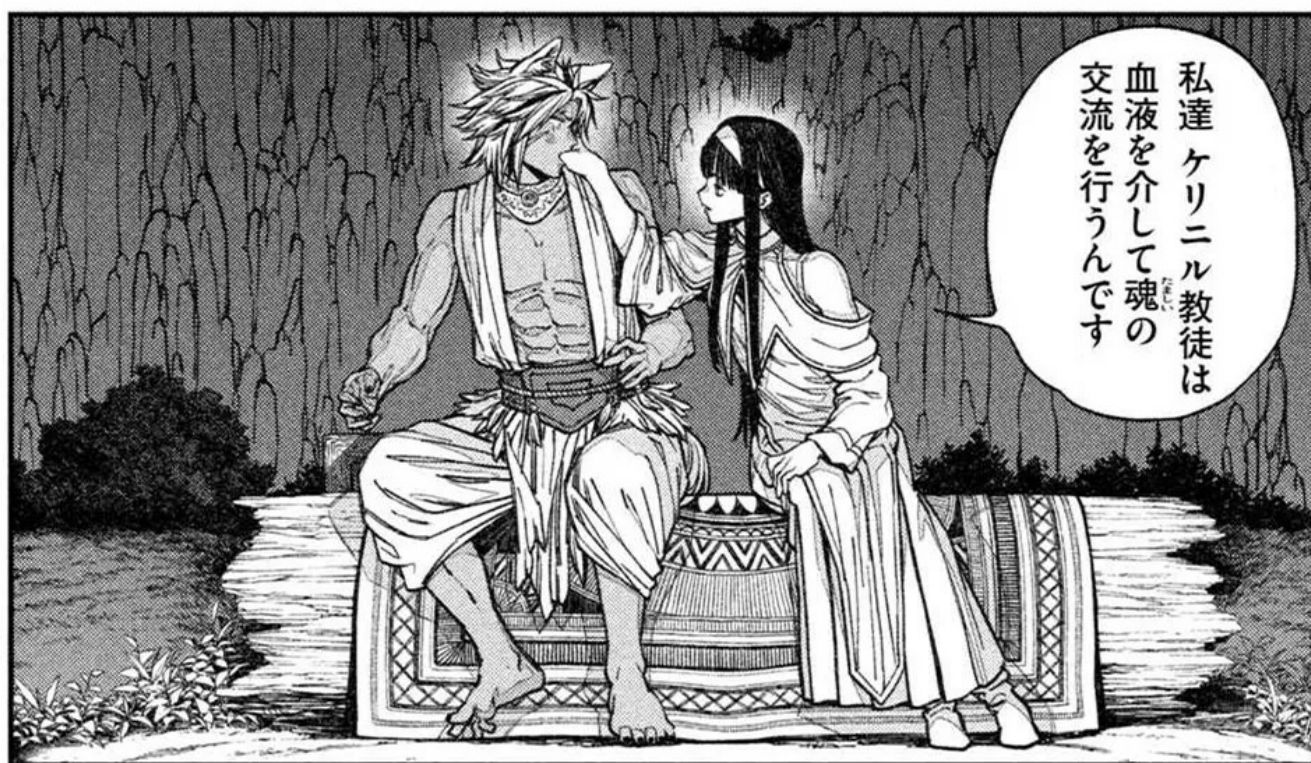
仲の良い人は
皆みなそう呼びます

え…
いえ…
しかし…

立場上
そのような
事は…

…もう少し
親睦を深める
必要があるよう
ですね

？







血液には魂の
フラグメントが
混ざり込む：

ならば精液は
どうでしょう？

修道院では
教わりません
でした

もしそこに
魂が溶け出して
いるのなら：

どれほど
甘美な
味わいなの
でしょうね

ごめんなさい
カイル

確かめずには
いられないん
です

あなたはアデーラの
所有物ですけれど

私：こういうのは
初めてですが
どうですか？

ツ……

うっ…!!

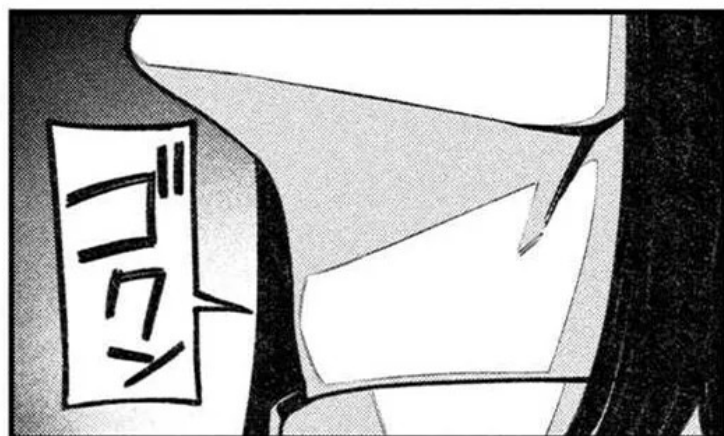
ちゃんと
できて
いますか？

気持ちいい
ですか？

私の手の中で
イケそう
ですか…？

ク…：
クラリツサ
さん…ツ

ガッ！





我が主神^{しめしん}ケリニルよ
その祝福に感謝
します……

え？



はあ~~~~

ゾクゾク

ゾクゾク



はああああああ

カイル

は……はい？



ツ……!!

私達は教義で
純潔を縛られて
います……

ト……



その他^{ほか}全て^{すべて}を
許します



ススス...

ふふっ

アデーラには
悪いですけど...



つまみ食いでは
収まりそうに
ありませんから

大丈夫

彼女昔から
私には甘いん
です



も・もう
ムリですつて!!

お願いっ
あと一回だけで
いいですからっ!

あきらめて
下さい!!

んだあ?
さわがしいな・

ほっ

ん

あ

おいおいおい・

ちよっ
まつ・

うわあああああ

楽しそうな事
してんじゃねーか!

あたしも
混ぜろ!!